



校 区 探 検

ヘ ラ ノ キ

校区内にある出屋敷町には、県指定天然記念物のヘラノキがあります。説明板に書かれている文章をそのまま掲載します。

「ヘラノキ（篋の木）は、わが国の暖地の山中に自生するシナノ木科の落葉高木で主として九州方面に分布するが、奈良県では当地及び吉野川沿岸の一部に自生しており、この種植物の自然分布の北限として学術上貴重な資料である。奈良県教育委員会」

葉は卵状の長楕円形で、鋭い鋸歯と尾状にのびる先端があります。7月ごろ、葉の腋から花序を出し、淡黄色の花を咲かせます。ヘラノキという名前は、この花序につく長楕円形の総苞葉の形から付けられたということです。



出屋敷町のヘラノキ遠望



ヘラノキの花序